



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立幌東中学校

読書センターとしての機能

・図書常任委員の活動(通年)

図書常任委員作成のPOP付きで「お薦めの本」を紹介したり、常任委員が考えた企画を行ったりしています。生徒のアイデアが生き、図書館がより身近になるよう、いろいろな角度から読書活動にアプローチをする機会を提供しています。

生徒の意見で実現した企画

「先生方のおすすめの本★青春の一冊」



先生方の中学生時代に読んでいた本や、生徒に薦めたい本などをエピソードカードと共に書棚にスペースを作って展示しています。世代を超えた情報交流の場になっています。

・テーマ展示やイベントの工夫

ゴールデンウィーク、長期休業明け、中体連や体育祭、秋の読書ウイーク、ハロウィン、クリスマスなど、時期や行事に合わせて、生徒の興味を惹くような展示や図書常任委員によるイベントを行っています。幌東ビンゴや生成A1による画像を使った幌東パズルなど借りきた生徒が楽しめる工夫を加えて常任委員が協力合せて活動しています。



学習センターとしての機能

・1年総合的な学習の時間「職業調べ」

興味のある職業をいくつか選び、初めは本やパンフレットなどの資料を基に概要をつかみました。図書館に設置された特設コーナーや、分類ごとにブックトラックに置かれた本から調べたい事柄を絞り、インターネットで更に情報を収集して精査し、プレゼン資料を作成しました。クラスや学年全体で共有し、それぞれの考えを共有しました。



・6組 総合的な学習の時間

図書館でレクチャーを受け、興味がある分野や事象について本を選んで調べ、プレゼン資料を作成しました。作成途中では情報の取り上げ方が適切かを確認したり発表の練習を行ったりするために司書からアドバイスをもらいながら、クラス発表に備えました。発表会を通じて、これからの生活にどのように生かして行くかを考えました。



情報センターとしての機能

・SDGs 17の指標

～実現のための取り組みをしよう～

持続可能な社会の実現の為に、誰もが身近な取り組みとして実行可能な内容を掲示し、定期的に更新をしています。



・「トランクキット」の活用



札幌市中央図書館から、トランクキットを貸して頂き、ミニ博物館を年に3回行っています。中には実際に手に触れる事のできる資料もあり、友達と談笑しながら展示会を楽しみました。

・情報コーナー

札幌市で行われる文化的行事や博物館、美術館の新聞記事やパンフレットを置き、定期的に更新して情報を伝えています。

